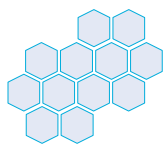


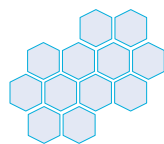
2022年2月期第2四半期 決算説明会

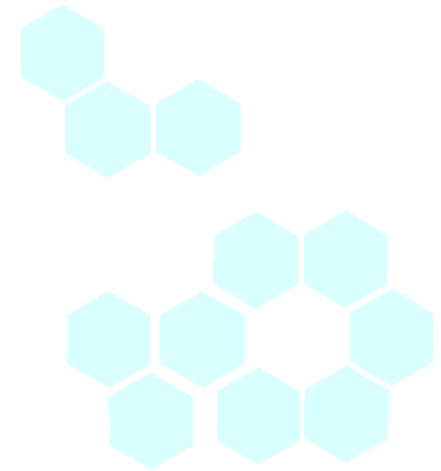
2021年10月12日

代表取締役社長 河田 淳



1.	2022年2月期第2四半期 決算概要	… P.3
2.	2022年2月期 業績見通し	… P.23
3.	中長期ビジョン	… P.28
4.	参考資料	… P.41





2022年2月期第2四半期 決算概要

2022.2期 第2四半期累計 連結業績

第2四半期累計の連結売上高、連結営業利益は**増収増益となり、過去最高を更新。**

連結売上高：20,234百万円(前年同期比 **+17.9%**)

連結営業利益：1,380百万円(前年同期比 **+76.0%**)

○食品関連は堅調。新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ前年同期の反動もあった。

○IT・工業材関連が5G関係の伸びや自動運転などに伴う車の電装化等により好調。

○圧縮袋の新規取引先獲得と、キッチン関連が大幅に増加した生活資材関連も好調に推移。

○生産効率向上による原価低減効果により利益率向上。

廊坊工場から滄州工場への設備移設進む

廊坊から滄州への生産移管



2019年1月:工場完成
2019年9月:量産稼働開始
2020年12月:単年度黒字化



2021年10月:設備移設が進んだことにより、廊坊中本包装有限公司の解散・清算を決定

※設備の移設に伴い、異動する従業員へ法定の経済補償金(特別退職金)約122百万円の支払いが発生。特別損失で計上。

Nブランド専用工場と製造ライン新設



- NAK-A-PET、NC-PET用シート押出生産設備を導入
- 2021年3月1日より稼働を開始
- 技術者を育成しつつ生産能力の向上を進める。

「環境素材事業部」の「押出成形工場」として稼働中「押出技術開発室」を付設し、研究・開発、試作、生産をワンストップで行える体制を構築



海外事業拡大の一環で、ベトナムに法人設立 早期稼働開始に向けて準備を進める



経過(2021年10月時点)

2020年5月:法人設立

2021年3月:工場完成

2021年8月:順次機械搬入



製造品目

IT・工業材関連

自動車内装材、圧縮袋

生活資材関連

を中心に製造開始

市場拡大が期待される東南アジアでの積極展開とリスク分散を図る。
2021年3月に工場建設完了、8月初旬以降、順次機械を工場へ。

CS(カスタマーサービス)センター、2021年8月より開所



顧客満足度向上のため、CSセンターを
埼玉第三工場2階に開所。
分析技術を活用し、製品性能や品質の向上
を目指す。

「顧客クレーム・事故『ゼロ』」

「分析技術を活用した製品開発」

活動内容

1. 品質改善、トラブル解決
2. 生産性向上、コスト削減
3. 研究開発の加速



新規商材の一部紹介



まな板シート

- ・まな板への食材の色や臭い移りを防ぐ
- ・家庭での調理時間等削減



キッチンマット

- ・テキスタイルタッチ風のスタイリッシュなデザイン
- ・水にも汚れにも強い
→洗濯の手間がなく、お手入れが簡単



N-VIRUS ZERO

使用用途：パーティション・タッチパネル・飲食店用パウチ向け等
商品販売に加えて、具体的な使用用途にあわせた受託加工も行っている。

紙加工に強みを持つ 三国紙工株式会社を子会社化



重袋(石油化学産業向けなど)



食品包材



大阪工場

第2四半期決算ハイライト

(連結)

(単位:百万円、下段は構成比)

	2021.2期 2Q累計 実績	2022.2期 2Q累計					
		実績	前年同期比		期初計画	期初計画比	
			差額	比率		差額	比率
売上高	17,161 (100.0%)	20,234 (100.0%)	+3,073	+17.9%	18,600 (100.0%)	+1,634	+8.8%
売上総利益	2,648 (15.4%)	3,596 (17.8%)	+948	+35.8%	2,960 (15.9%)	+636	+21.5%
販管費	1,863 (10.9%)	2,216 (11.0%)	+352	+18.9%	2,105 (11.3%)	+111	+5.3%
営業利益	784 (4.6%)	1,380 (6.8%)	+596	+76.0%	855 (4.6%)	+525	+61.5%
経常利益	807 (4.7%)	1,534 (7.6%)	+726	+90.0%	877 (4.7%)	+657	+74.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	683 (4.0%)	858 (4.2%)	+174	+25.6%	576 (3.1%)	+281	+48.8%
研究開発費	32 (0.2%)	25 (0.1%)	▲6	▲21.1%	38 (0.2%)	▲12	▲33.3%
設備投資額*1	406 (2.4%)	735 (3.6%)	+328	+80.7%	986 (5.3%)	▲250	▲25.4%
減価償却費*2	493 (2.9%)	648 (3.2%)	+155	+31.5%	678 (3.6%)	▲29	▲4.3%

*1:設備投資額には建設仮勘定は含まない *2:のれん償却費含む

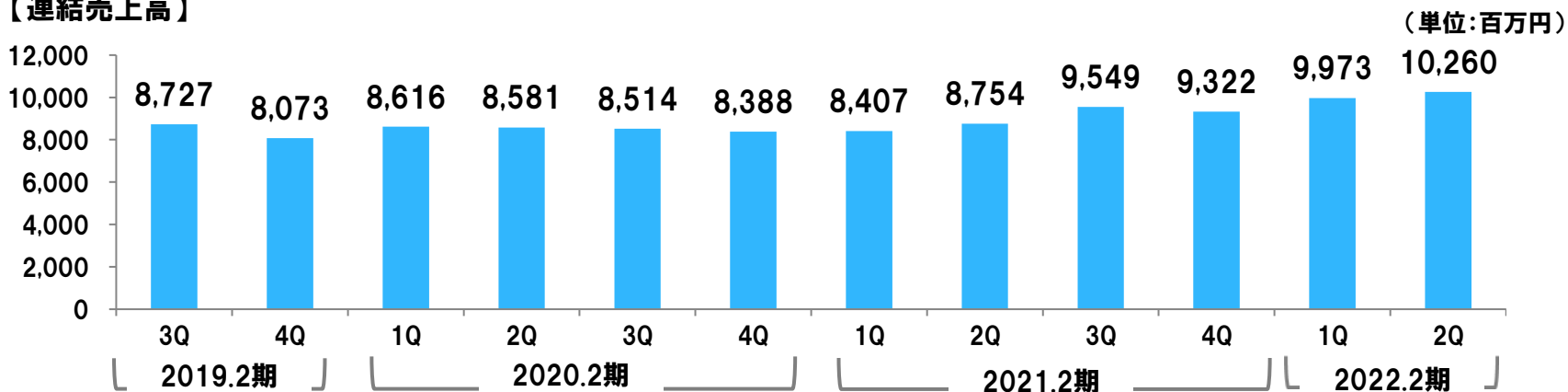
(注) 換算レート 2022.2期2Q 17.1円/元 110.6円/ドル

第2四半期決算ハイライト

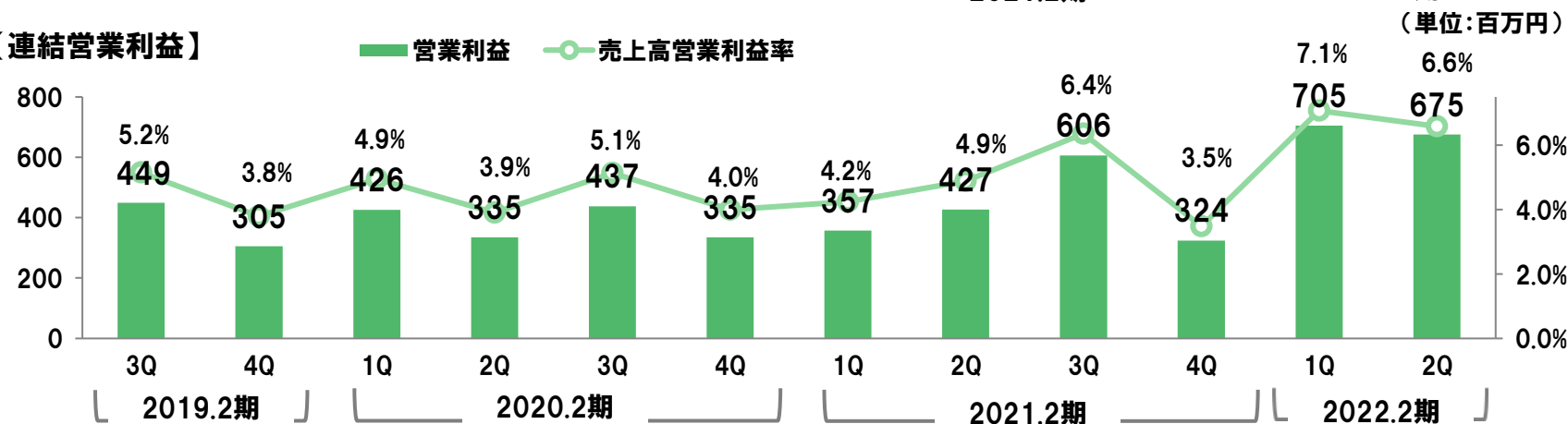
四半期毎 売上・営業利益推移

- 第1四半期、第2四半期ともに過去最高の売上、利益、利益率を達成。

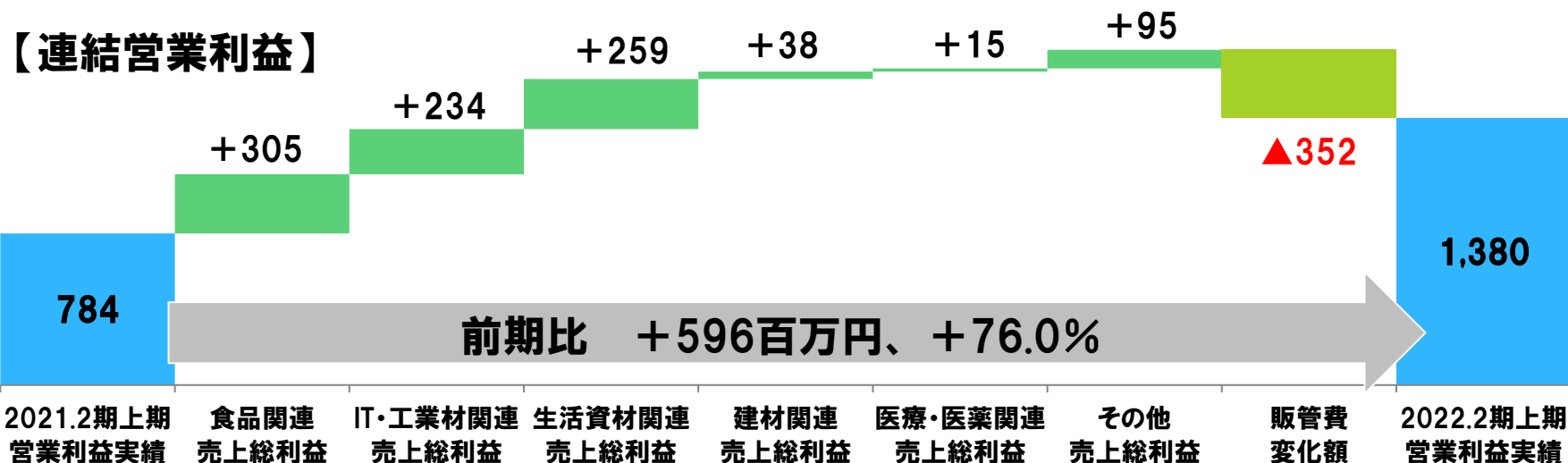
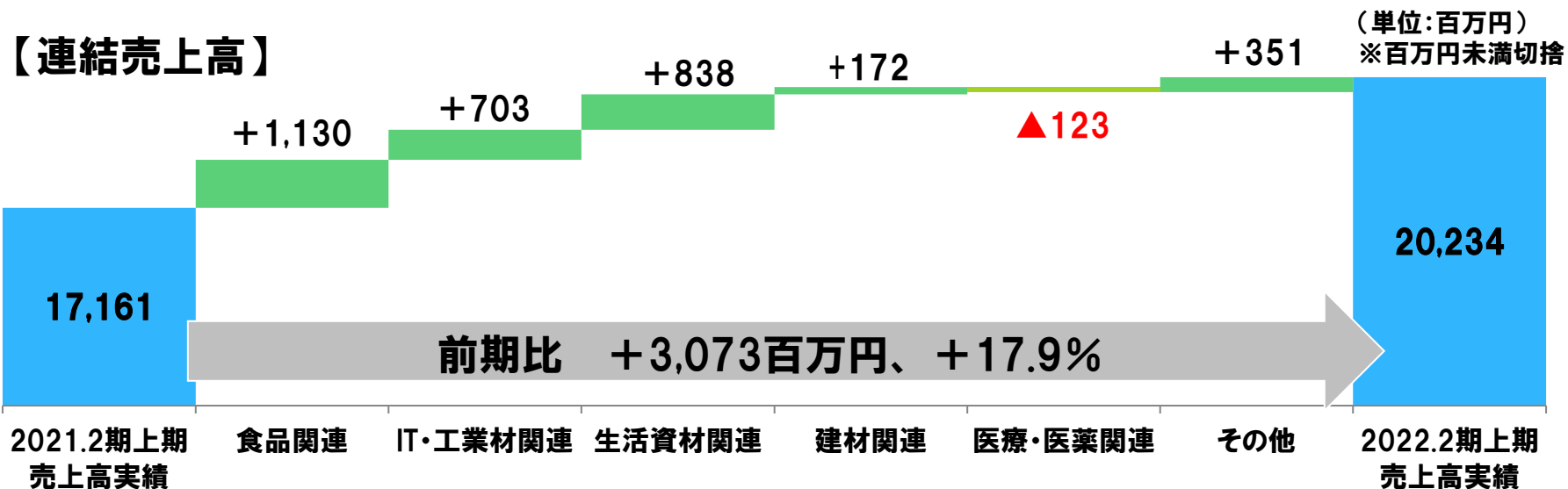
【連結売上高】



【連結営業利益】



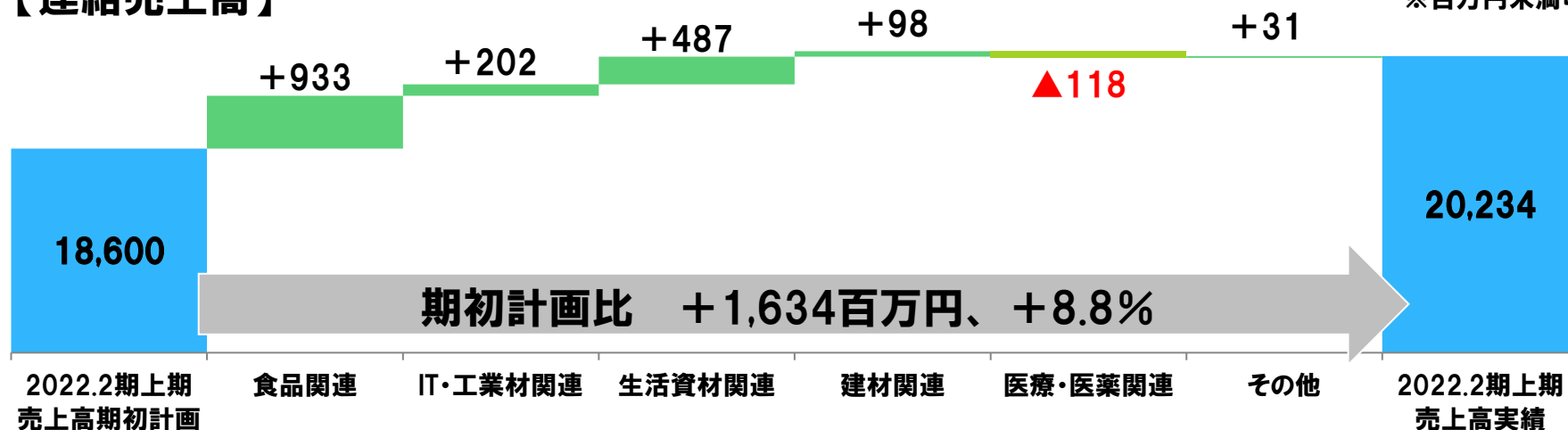
売上高・営業利益増減要因（前期比）



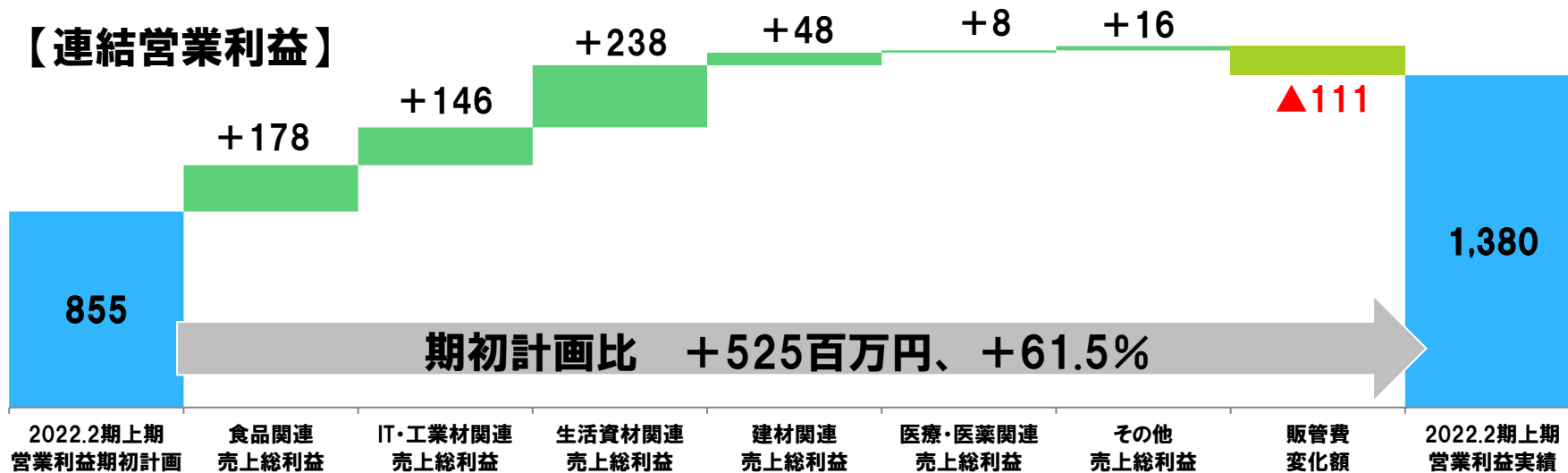
売上高・営業利益増減要因（期初計画比）

【連結売上高】

（単位：百万円）
※百万円未満切捨



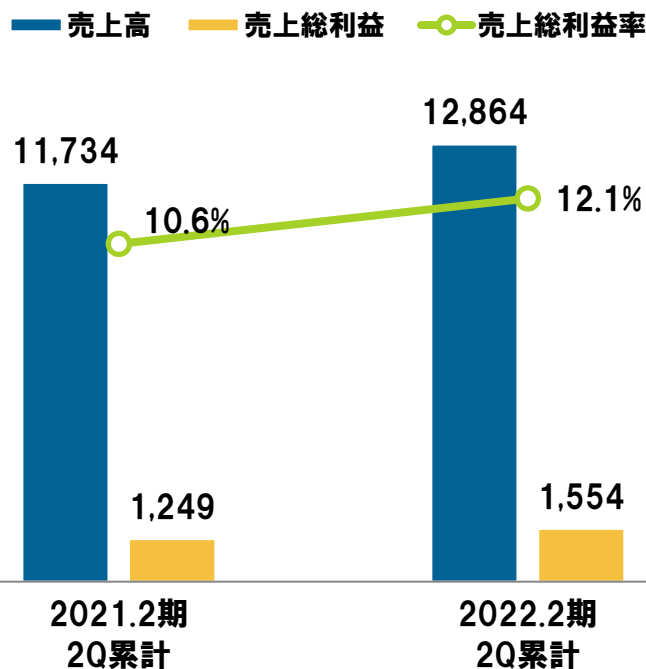
【連結営業利益】



用途別状況 食品関連

食品関連

(単位:百万円)



当社製品 採用例



パスタ容器



弁当容器

イメージ

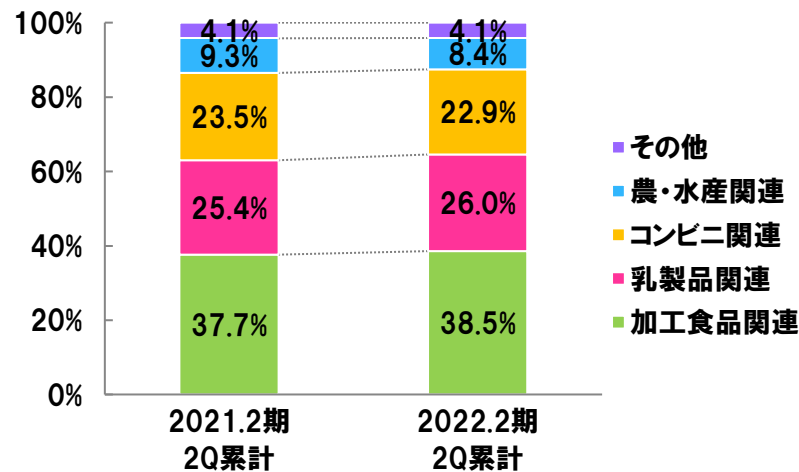


飲料蓋

■ 主要製品別販売状況

加工食品関連	<ul style="list-style-type: none"> 冷凍食品などスーパー向け包材好調 テイクアウト、デリバリー用の容器・トレー向け商材堅調 デパ地下向け、業務用などは回復するも、コロナ前には戻らず
乳製品関連	<ul style="list-style-type: none"> 市販用ヨーグルト、チーズ向け包材好調
コンビニ関連	<ul style="list-style-type: none"> 容器成型加工が増加
農・水産関連	<ul style="list-style-type: none"> 農産向けフードパックが堅調

■ 主要製品別販売構成比(連結)

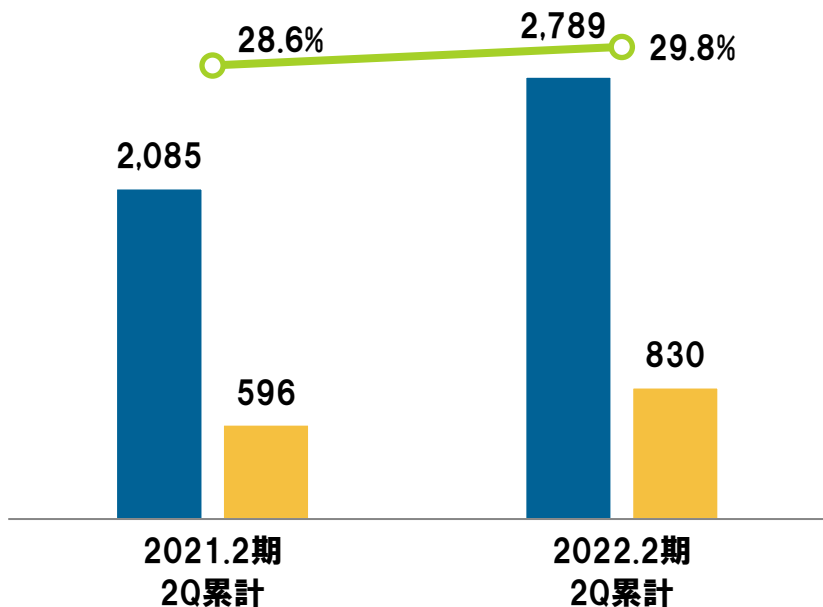


用途別状況 IT・工業材関連

IT・工業材関連

(単位:百万円)

売上高 売上総利益 売上総利益率



当社製品 採用例



各種工程フィルム

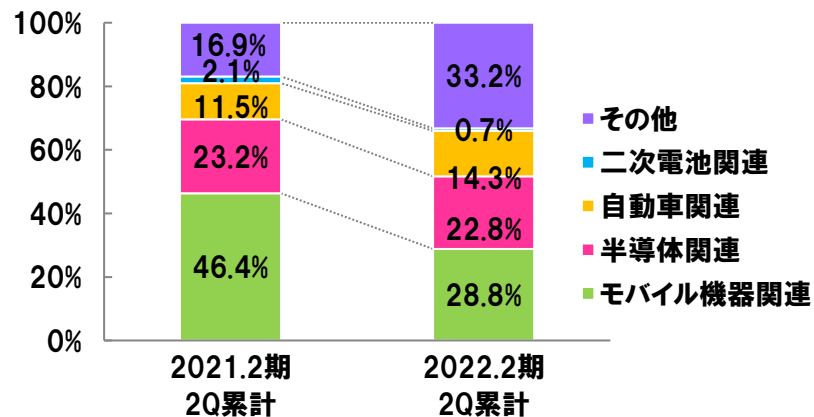


NSセバ

■ 主要製品別販売状況

モバイル機器関連	・半導体不足の影響により、廉価版スマホ向け部材が減少
半導体関連	・5G関係や自動運転に伴う車の電装化により増加
自動車関連	・自動車生産の回復により増加
二次電池関連	・現状スポット受注のみ
その他	・石化産業向け重袋等が増加 ・テスト案件も回復傾向

■ 主要製品別販売構成比(連結)

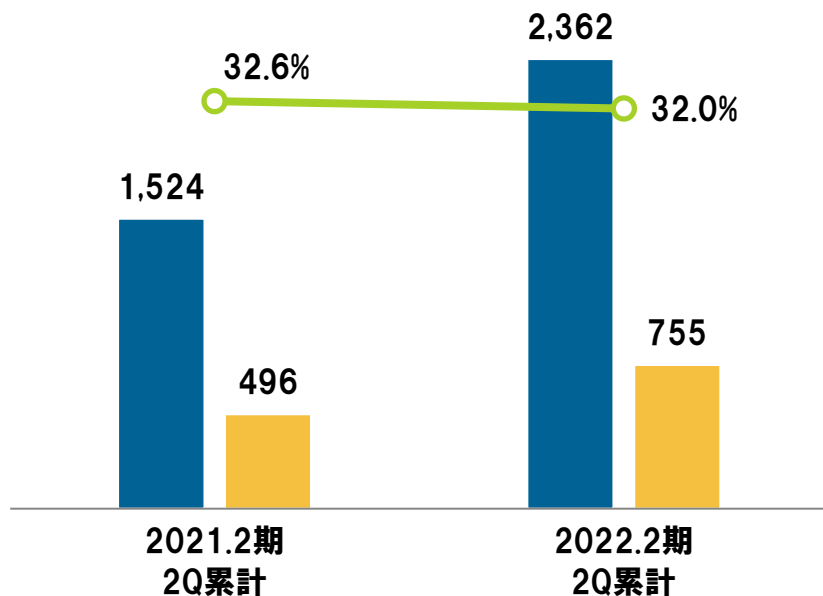


用途別状況 生活資材関連

生活資材関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ● 売上総利益率



当社製品 採用例



エアコン室外機用
遮熱シール

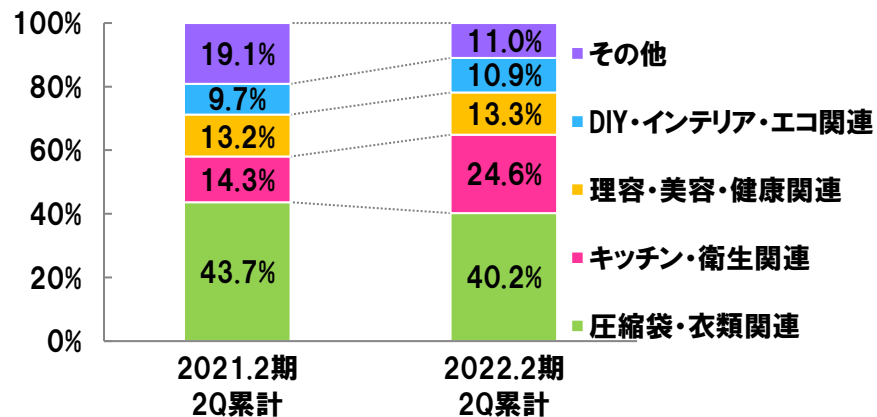


キッチンまな板シート

■ 主要製品別販売状況

圧縮袋・衣類関連	<ul style="list-style-type: none"> ・TV通販向けの商材が増加 ・新規取引先の獲得により国内シェアトップ
キッチン・衛生関連	<ul style="list-style-type: none"> ・まな板シート、キッチンマット、キッチンラックなど新商品の売れ行き好調
理容・美容・健康関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケア関連の包材が増加
DIY・インテリア・エコ関連	<ul style="list-style-type: none"> ・遮熱・断熱などの省エネにつながるエコ関連の新規商材が好調

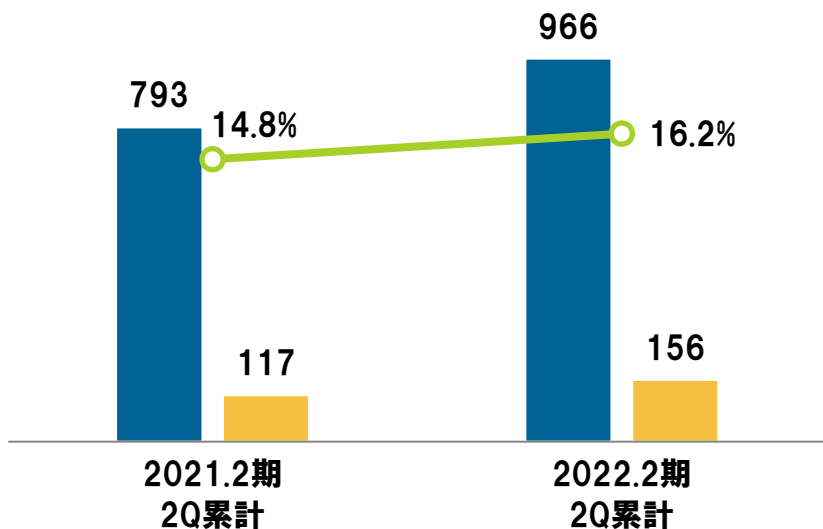
■ 主要製品別販売構成比(連結)



建材関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ● 売上総利益率



当社製品 採用例



キッチン



クローゼット

■ 主要製品別販売状況

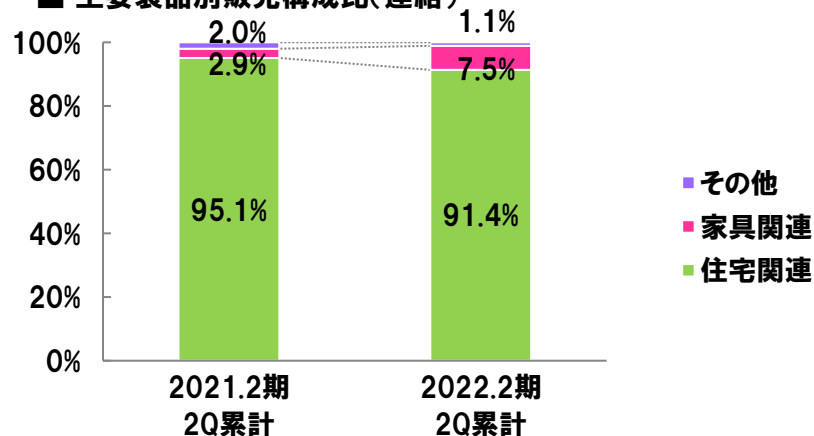
住宅関連	<ul style="list-style-type: none"> 戸建て、集合住宅向けの機能性建材が堅調
家具関連	<ul style="list-style-type: none"> 加工基材の不足による影響で一部アイテムで受注減少 海外向け案件好調により増加

■ Nコート

Nコートはポリプロピレン系の合成紙であり、水に強い性質を活かし、主に自動販売機用のラベル、床材に使用されている。



■ 主要製品別販売構成比(連結)

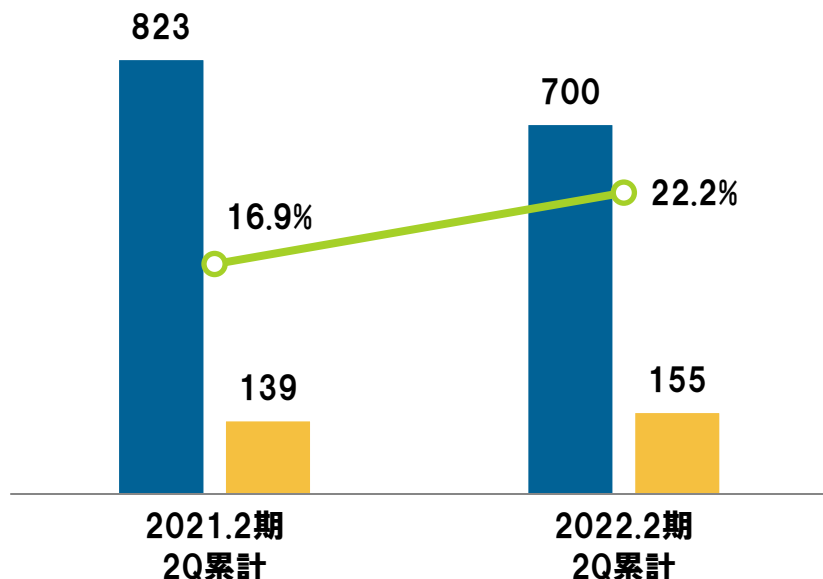


用途別状況 医療・医薬関連

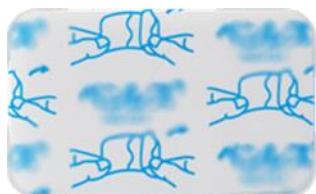
医療・医薬関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ● 売上総利益率



当社製品 採用例



麻酔テープ



フェイスシールド

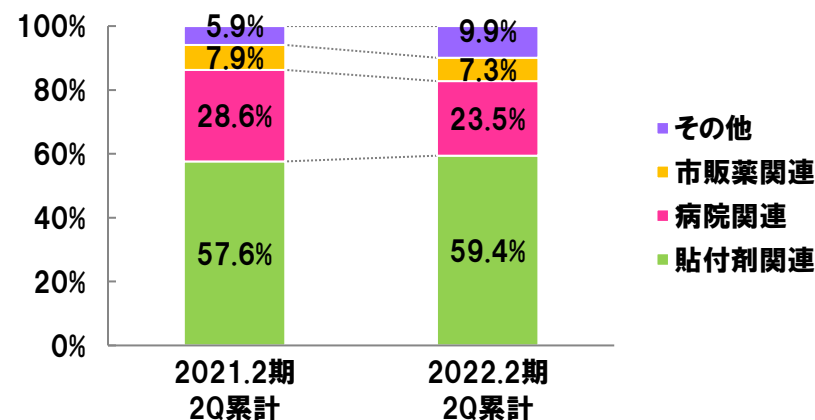


輸液用遮光カバー

■ 主要製品別販売状況

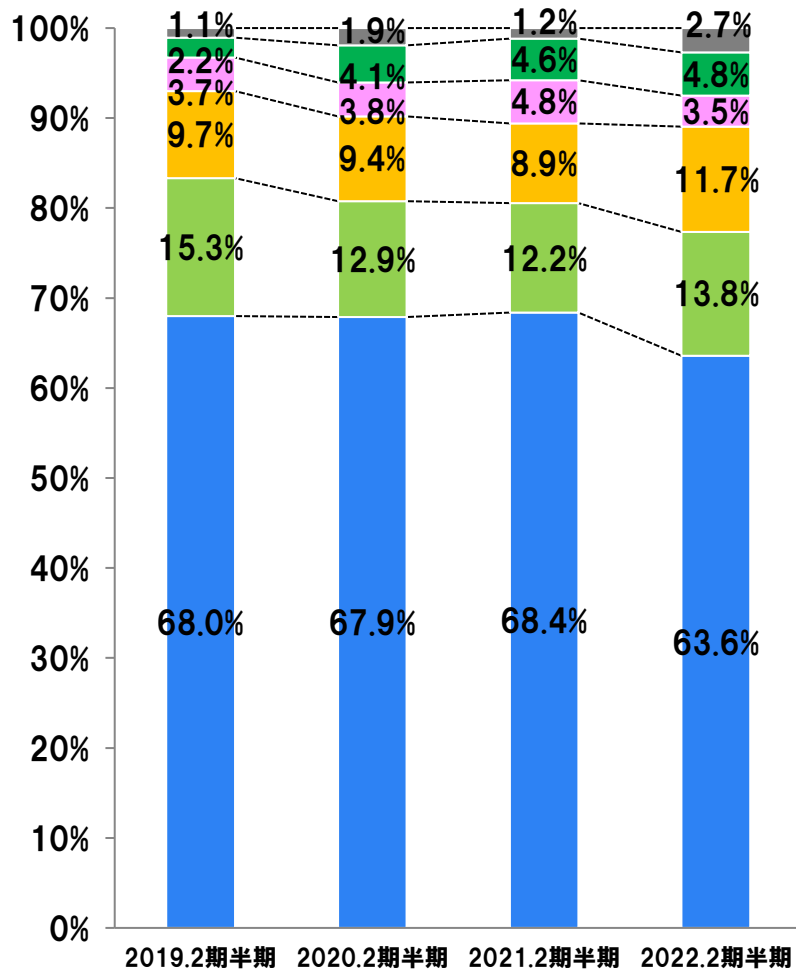
貼付剤関連	<ul style="list-style-type: none"> 市場全体の物量は安定 比較的高価格帯の貼付剤向けが好調 離型フィルムの構成見直しにより主力アイテムが一時的に減少
病院関連	<ul style="list-style-type: none"> 輸液関係包材が堅調 防護服の公募が未だされておらず、入札に遅れが出ている影響で減少
市販薬関連	<ul style="list-style-type: none"> 市販薬用包装材は減少

■ 主要製品別販売構成比(連結)



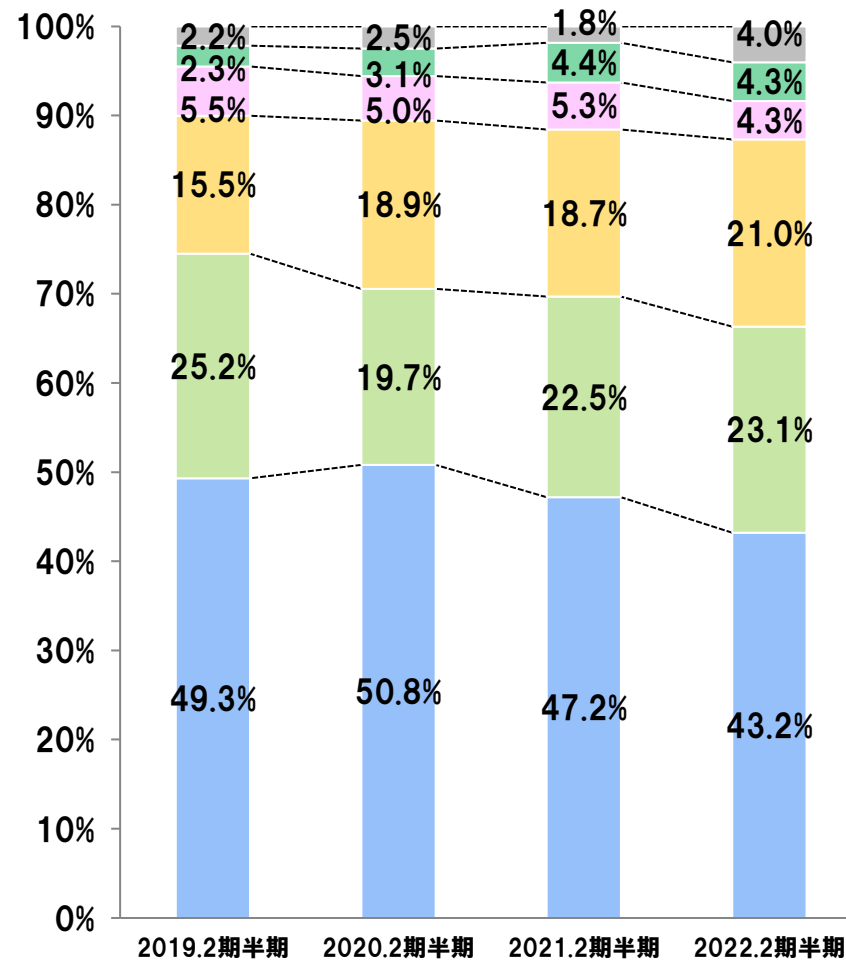
用途別売上高・売上総利益構成比の推移

連結売上高



■ 食品 ■ IT・工業材 ■ 生活資材 ■ 医療・医薬 ■ 建材 ■ その他

連結売上総利益



■ 食品 ■ IT・工業材 ■ 生活資材 ■ 医療・医薬 ■ 建材 ■ その他

資産・負債の状況

(連結)

(単位:百万円、下段は構成比)

	2021.2末	2021.8末		
			前期末比差額	主な増減要因
流動資産	16,823 (52.9%)	17,563 (53.8%)	+740	現金及び預金+612、電子記録債権+202、 たな卸資産+155、受取手形及び売掛金▲294
固定資産	14,961 (47.1%)	15,087 (46.2%)	+126	有形固定資産+89
資産合計	31,784 (100.0%)	32,651 (100.0%)	+866	
流動負債	14,975 (47.1%)	14,901 (45.6%)	▲74	支払手形及び買掛金+101、短期借入金+143、 未払法人税等+243、 長期借入金▲356、その他▲252
固定負債	2,586 (8.1%)	2,614 (8.0%)	+27	長期借入金+84
負債合計	17,562 (55.3%)	17,515 (53.6%)	▲47	
純資産合計	14,222 (44.7%)	15,135 (46.4%)	+913	利益剰余金+621、為替換算調整勘定+193
負債・純資産合計	31,784 (100.0%)	32,651 (100.0%)	+866	
ネット有利子負債	4,366 (13.7%)	3,592 (11.0%)	▲774	現金及び預金+612、短期借入金+143、 長期借入金▲272

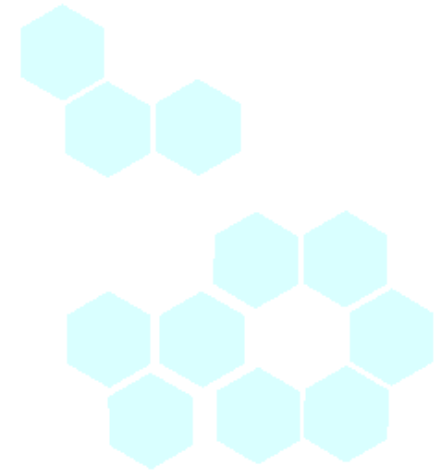
ネット有利子負債=(有利子負債-現金及び預金)

キャッシュ・フローの状況

(連結)

(単位:百万円)

	2020.2期 2Q累計 実績	実績	2021.2期 2Q累計
			概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,632	1,950	税金等調整前四半期純利益 + 1,382、 減価償却費 + 634、売上債権 + 138、 未払消費税等 + 149、 たな卸資産▲105、法人税等の支払額▲239
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲778	▲1,064	差入保証金の回収による収入 + 5、 有形固定資産の取得による支出▲966
フリー・キャッシュフロー	854	885	
財務活動によるキャッシュ・フロー	766	▲449	長期借入による収入 + 419、 長期借入金返済による支出▲691、 配当金の支払額▲236
現金及び現金同等物の換算差額	▲14	92	
現金及び現金同等物の増減額	1,606	528	
現金及び現金同等物の期首残高	2,542	3,707	
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,149	4,235	



2022年2月期 業績見通し

当期の業績見通し(概況)

食品関連

第2四半期まで

- ・ 冷凍食品、乳製品向け包材好調
- ・ テイクアウト、デリバリー用の容器・トレー向け堅調
- ・ デパ地下向け包材が一部回復

現況・第3四半期以降

- ・ 中食、内食需要への対応継続
- ・ 行動規制の緩和による需要回復に期待
- ・ 補助材料費の値上げ想定も、生産効率改善で吸収

IT・工業材関連

- ・ 電子部品製造用フィルム堅調
- ・ モバイル関連は半導体不足の影響で廉価版スマホ向け減少
- ・ 自動車関連は前年比で回復

- ・ 5G関連需要は堅調
- ・ 半導体不足の影響による自動車等の減産懸念
- ・ 成長分野の試作・量産化推進

生活資材関連

- ・ ホームセンター、ECサイト、テレビショッピングでの販売好調

- ・ 新規商材順次投入

建材関連

- ・ ウッドショックの影響により一部アイテムで加工基材が不足

- ・ 機能性建材は堅調

医療・医薬関連

- ・ 医療用防護服の公募遅れ

- ・ 公募の開始時期未定

当期の業績見通し

(連結)

(単位:百万円、下段は構成比)

	2021.2期 実績	修正後着地予想 (9/29公表)	2022.2期	
			前期比	
			差額	比率
売上高	36,033 (100.0%)	39,500 (100.0%)	+3,466	+9.6%
売上総利益	5,695 (15.8%)	6,679 (16.9%)	+983	+17.3%
販管費	3,980 (11.0%)	4,349 (11.0%)	+369	+9.3%
営業利益	1,715 (4.8%)	2,330 (5.9%)	+614	+35.8%
経常利益	1,750 (4.9%)	2,500 (6.3%)	+749	+42.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,315 (3.7%)	1,470 (3.7%)	+154	+11.7%

想定為替レート 16.95円/元 109.52円/ドル 0.0045円/ドン

設備投資・減価償却費 計画

(連結)

(単位:百万円)

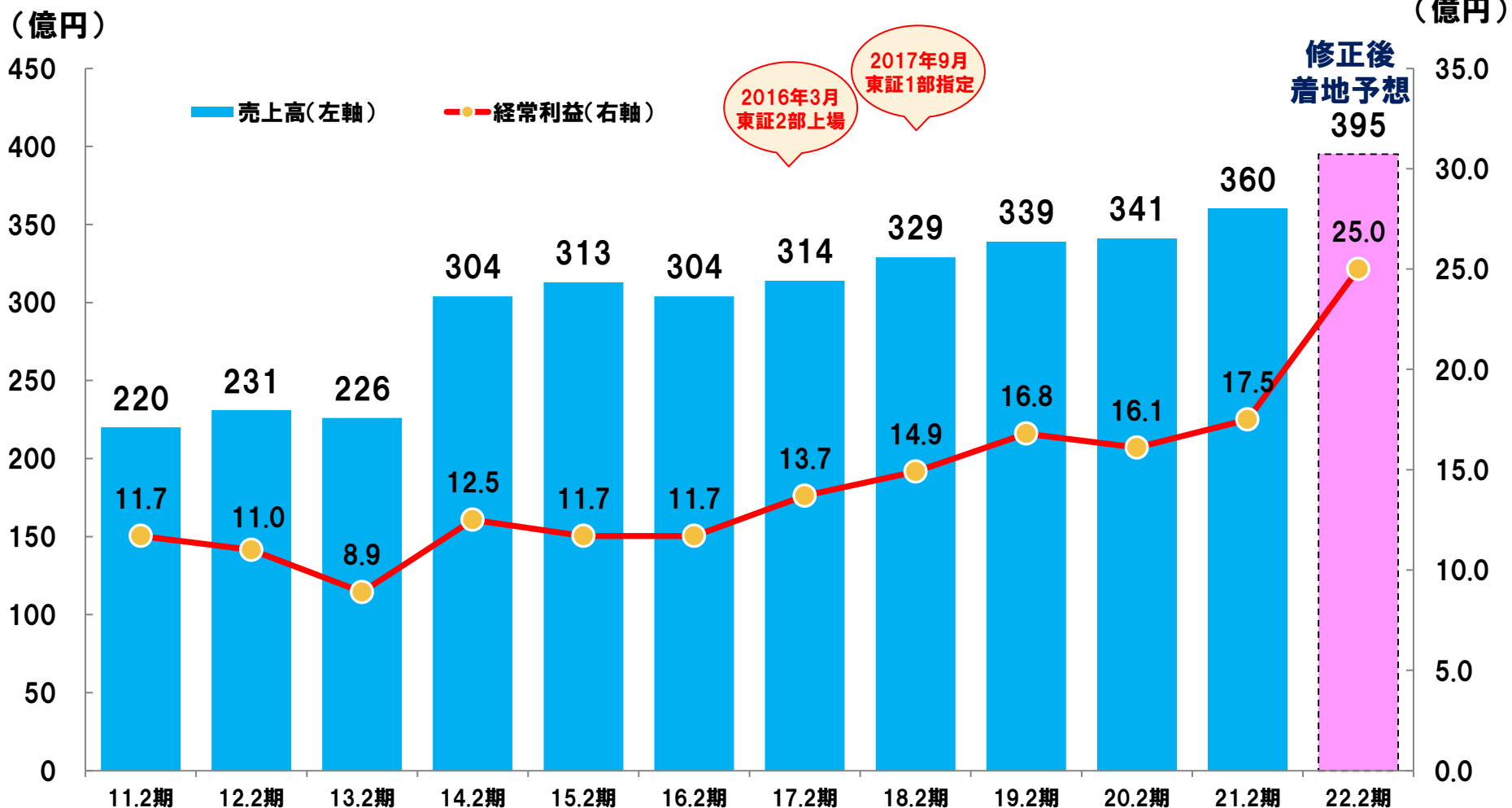
	2021.2期 実績	計画	2022.2期	
			前期比	
			差額	比率
設備投資額	2,070	1,582	▲487	▲23.6%
減価償却費	1,053	1,452	+399	+37.9%
研究開発費	87	78	▲9	▲11.0%

【2022.2期の主な設備投資】

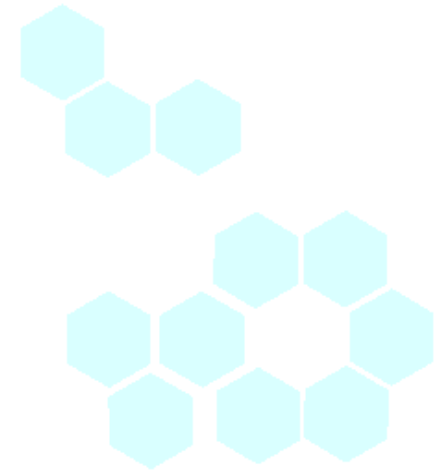
件名	内容	投資金額(億円)
工場・生産設備	工場倉庫増設等(名張)、成型機(エヌアイパックス)他	約5.8億円
IT化・システム付帯設備	新基幹システム関係他	約1.9億円
空調関連	空調設備(柏原・竜ヶ崎・名張)	約0.4億円
検査・測定・分析機器	検査・測定・分析機器(柏原・品質保証本部)他	約1.8億円
その他	VOC処理装置・地下タンク他	約3.0億円

全天候型経営で安定成長

中本パックスグループ 長期業績推移



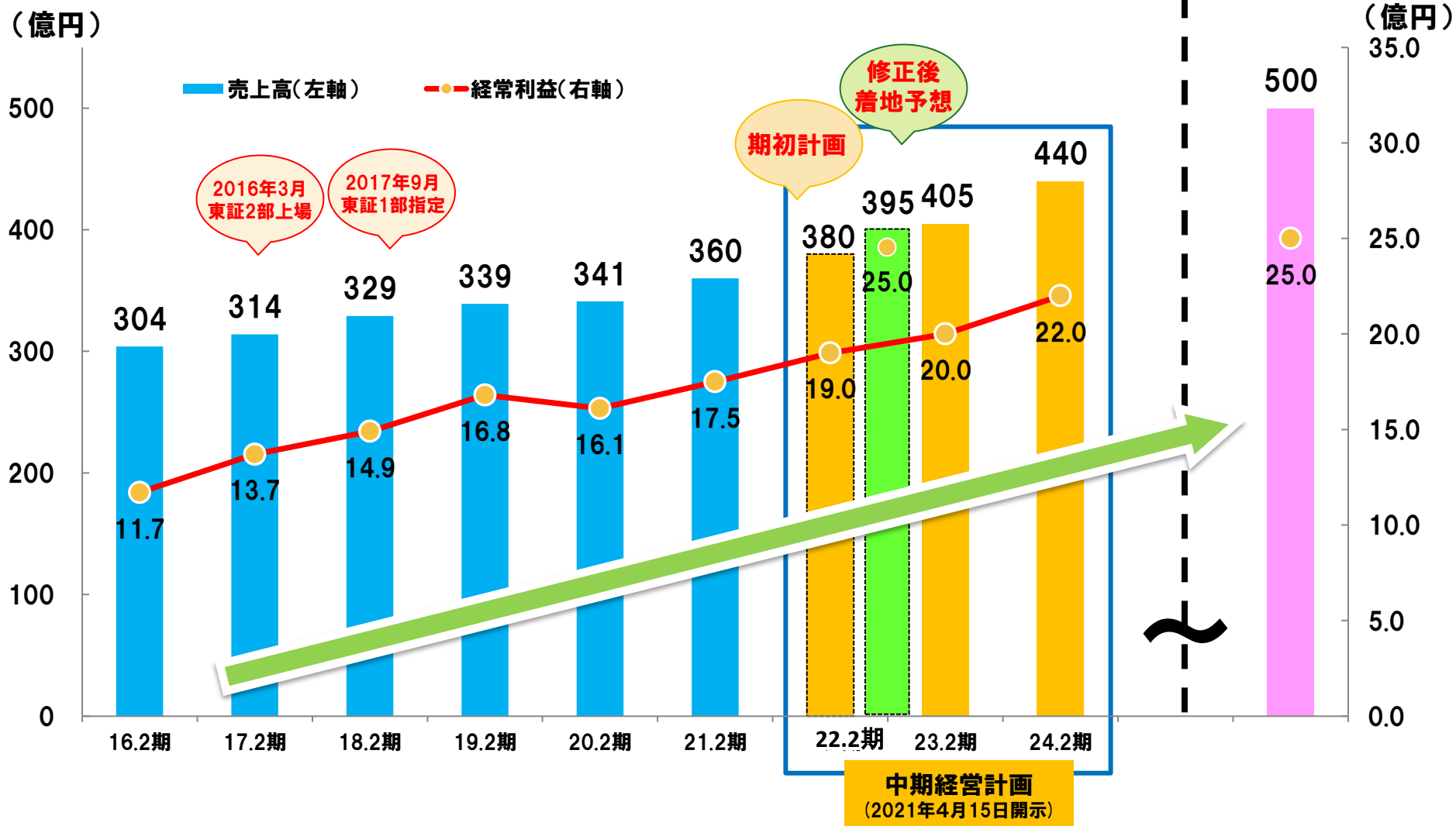
(注)13.2期以前は単体、14.2期以降は連結



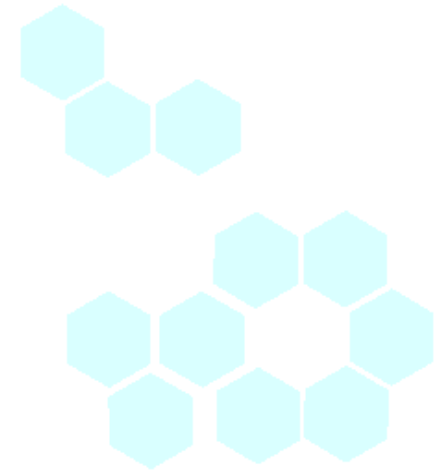
当社の中長期ビジョンについて

中期業績目標(連結)

中期計画を策定:売上高500億円 経常利益25億円を目指す



- 1. 環境経営の推進**
- 2. 海外事業の拡大**
- 3. 営業力の強化**
- 4. 生産性向上、品質改善・技術力の強化**
- 5. 基幹システム刷新による効率化推進**



環境経営の推進

**CO2削減、溶剤使用量削減、
VOC排出量削減、石化原料使用量削減**

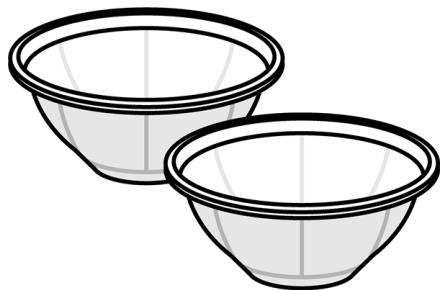
バイオマスインキ、接着剤の使用によるCO2、石化原料使用量削減



従来型インキと比較してCO2排出量15%削減

石化由来原料の使用量も削減

水性接着剤の使用による有機溶剤使用量、VOC排出量削減



従来型接着剤と比較して、

有機溶剤使用量

VOC排出量

0
(ゼロ)

PET樹脂単体(モノマテリアル)、薄膜剛性で省資源、易リサイクル

CO2排出量削減最大30%、石化原料使用量削減30%

NAK-A-PET

食品関連

- 特徴
- ① 高剛性なので薄肉化が可能(省資源、コストダウン可能)
 - ② リサイクル原料、バイオマス原料の配合可能
 - ③ リサイクル可能な素材、環境及び食品衛生等に配慮した設計

用途 主に菓子、農産物などのトレー・フードバック

戦略 薄肉・高剛性の性質を訴求し、OPSシートからの置き換えを強力に推進



菓子トレー



乾めんトレー

NC-PET

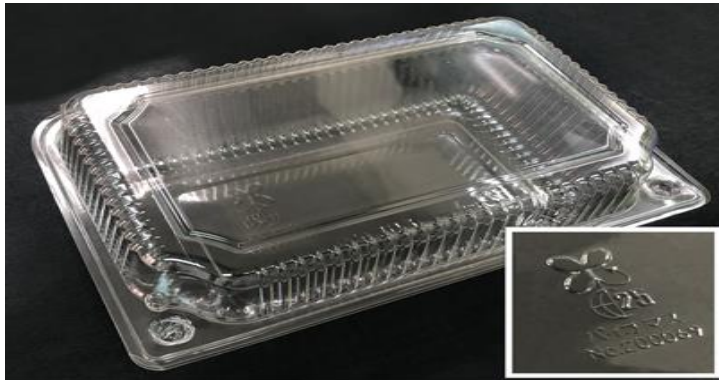
食品関連

- 特徴
- ① 耐熱性に優れている(220℃(但し成型条件による))
 - ② 耐寒性、保香性、剛性も高い

用途 主にグラタン等の焼成メニューの容器

戦略 焼成→冷凍・流通→解凍を移し替えなしに行えるメリットを提案





現行品から最大**30%**も薄く！

縦方向に一定に薄く伸ばことで
強度を強くします



バイオマス原料で環境負荷を軽減！



- 剛性も高く、従来の材料と比べてプラスチック使用量を**30%削減可能**
- 更に**バイオマスPET25%**使用で、**CO2排出量50%以上削減可能**
- 形状保持で、**ごみ減量も可能**

◎ 紙製 耐熱容器



子会社化した三国紙工の
紙加工技術を活かした
紙製耐熱容器

◎ 紙と生分解性樹脂

紙に 生分解性プラスチック を薄膜押出が可能!

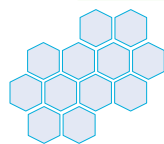
約1/3の薄さを実現!

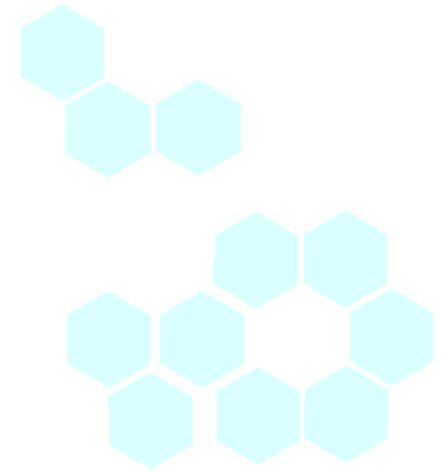
PLA	高付加価値樹脂の 薄膜押出加工が可能
紙	紙リッチな独自仕様の 環境対応包材ができます!
他社加工	PLA30~40μm
当社加工	PLA10~12μm

見えない部分も
地球にやさしい
素材を

紙に生分解性樹脂をラミ
ネートした製品も開発
土に戻る容器で環境負荷
を低減する

その他の生分解性樹脂を使用した環境対応シートも開発中





海外事業の拡大

海外事業の拡大

第一弾

【滄州中本華翔新型材料有限公司】
2018年4月：新会社の設立と工場建設開始
2019年9月：本格稼働開始
2020年：通年で黒字化
2021年：廊坊中本包装より設備移設完了

本格稼働を開始し、先期は通年黒字化



廊坊から滄州への生産移管

第二弾

【米国ナッシュビル営業事務所】
2018年7月：米国での営業開始(営業事務所と倉庫1か所)
2019年2月：順調に受注を重ね、倉庫が3か所に増加
2020年：食品包材分野での新規取組を推進
2021年：通期で黒字化の見通し

自動車内装材、食品包材、機能材分野で新規獲得を目指す



米国ナッシュビル営業拠点

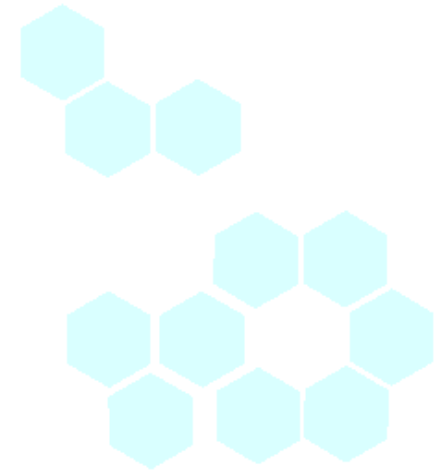
第三弾

【ベトナムに子会社を設立、工場の建設は完了】
2020年5月：ベトナム中部ダナン近郊のトアティエン＝フエ省
の工業団地に新会社設立
2021年3月：工場建設完了
2021年8月：初旬以降、順次機械が工場に到着
早期稼働開始に向け、生産体制確立中

ベトナムの早期稼働で海外事業拡大とリスク分散をはかる



ベトナム新工場



経営基盤の強化

- ・営業力の強化、生産性向上、品質改善・技術力の強化
- ・基幹システム刷新による経営判断のスピードUP、効率化の推進

☆営業力の強化

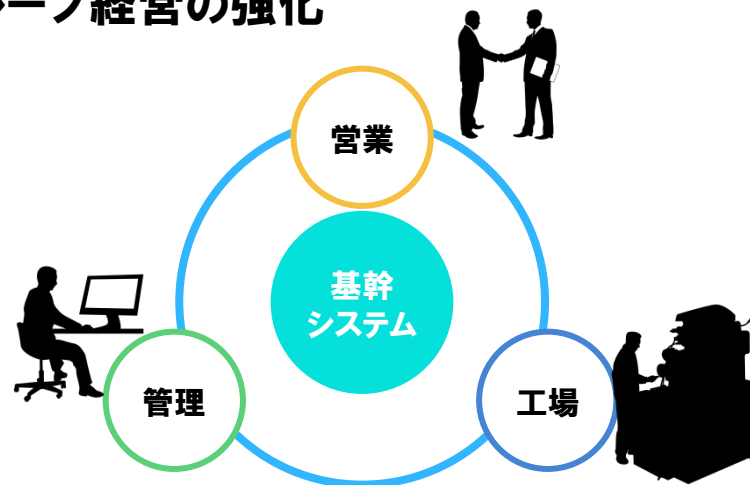
- ・営業支援ツールを活用した情報共有と活動効率の向上
- ・新規顧客の獲得、とりわけ成長分野へのアプローチ強化
- ・環境に優しい素材・加工・製品の提案
- ・当社グループ設備の特徴を生かした実機試作→量産への展開加速
- ・技術部門と連携したハイエンド品への展開

☆生産性向上、品質改善・技術力の強化

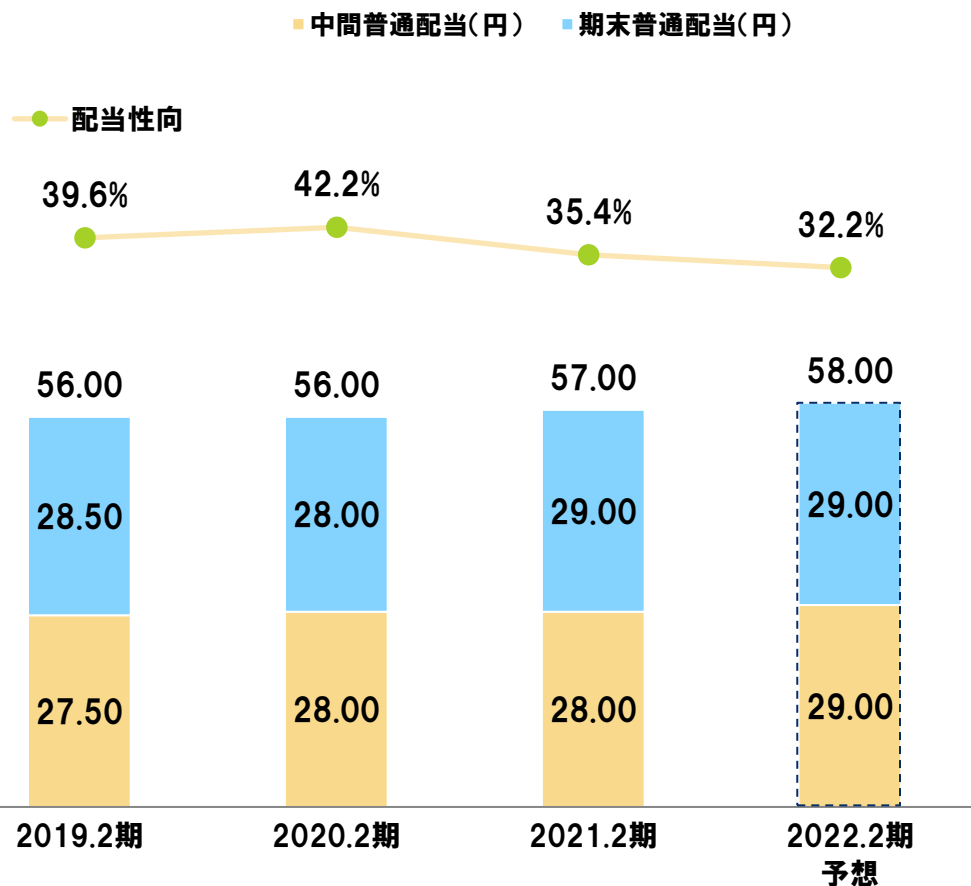
- ・生産性向上と製造原価低減を徹底
- ・分析機能の充実
→埼玉第三工場にCSセンターを新設
- ・製品設計、塗材開発の強化
→技術開発部隊を設置し、開発を強化

☆基幹システム刷新の狙い (要件定義は概ね完了、稼働開始は2023年の見込み)

- (現在の基幹システム刷新の方向性)
- ・経営指標早期把握による経営判断のスピードUP
 - ・SCMによる効率的な生産と適正在庫
 - ・データ活用による、営業活動効率化、品質改善
 - ・定例業務の見直し、業務の効率化、省力化
 - ・グループ経営の強化



■ 必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を実施していく



【株主優待制度】

対象となる株主様

毎年2月末現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1单元(100株)以上保有する株主様

株主優待内容

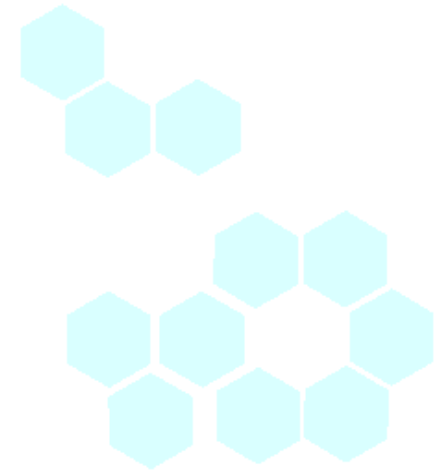
100株以上200株未満 QUOカード1,000円分
200株以上 QUOカード2,000円分

※2021年2月末現在の株主名簿に記載または記録された株主様への贈呈分より、株主優待制度の変更(拡充)を適用

贈呈時期

毎年5月末頃を予定

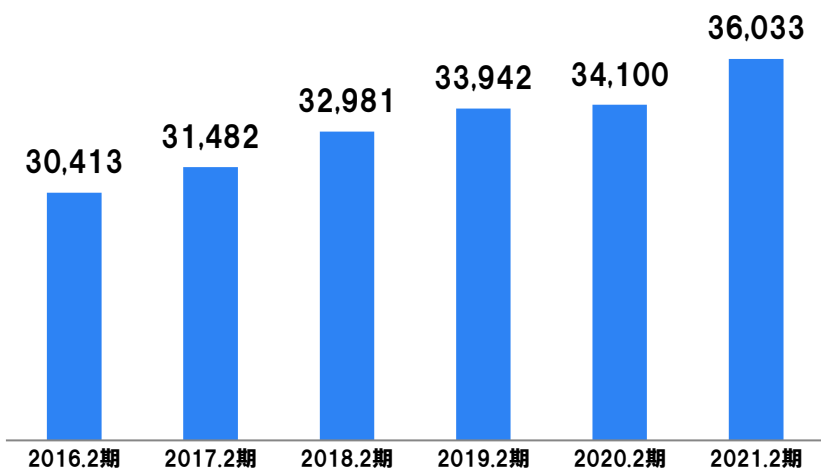




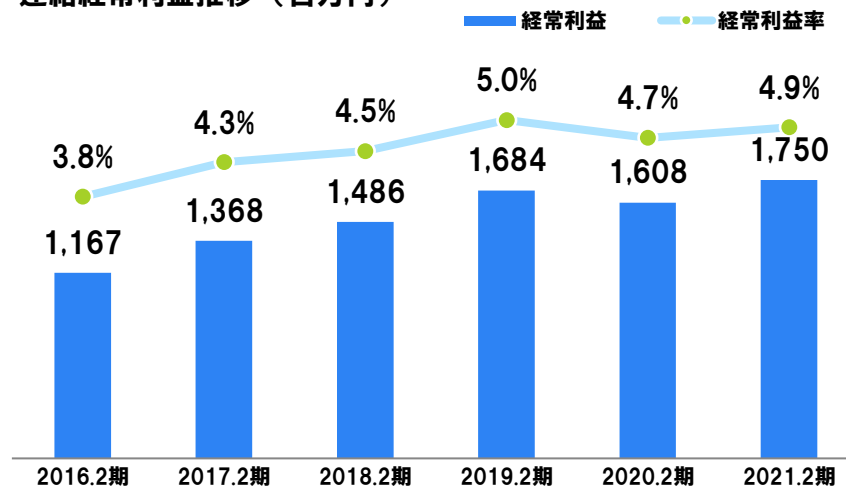
参考資料

業績推移 1/2

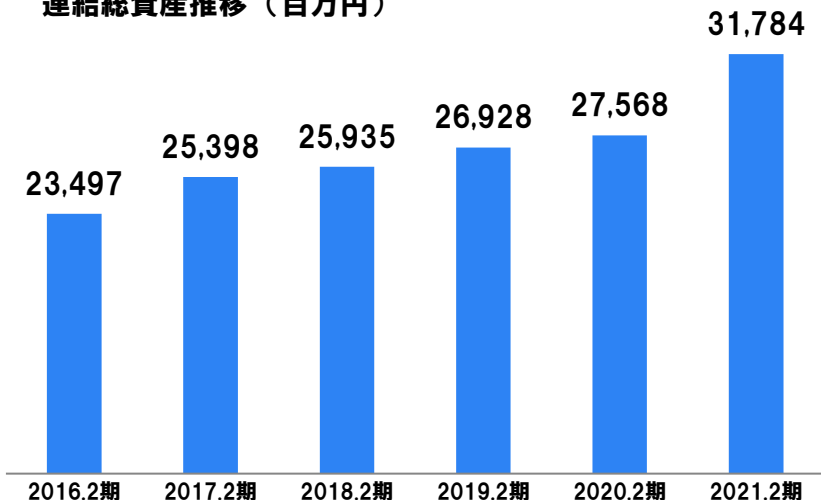
連結売上高推移 (百万円)



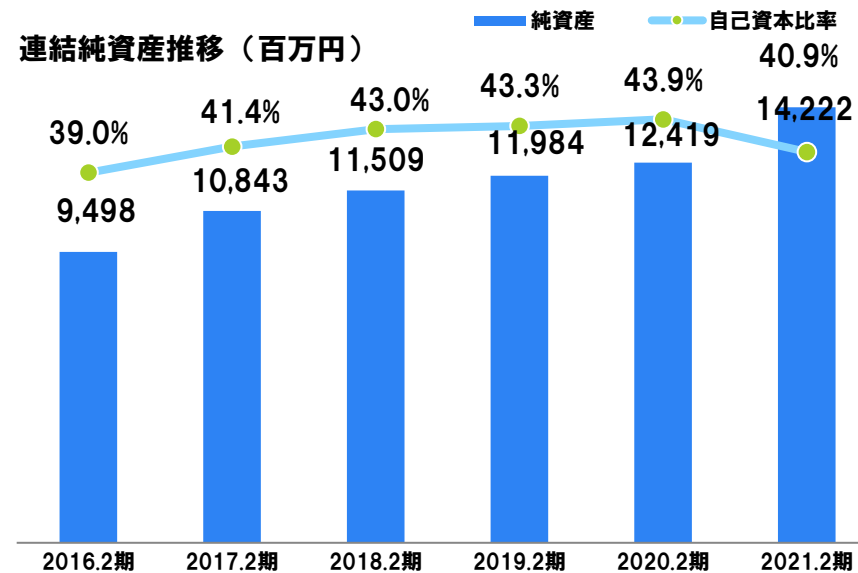
連結経常利益推移 (百万円)



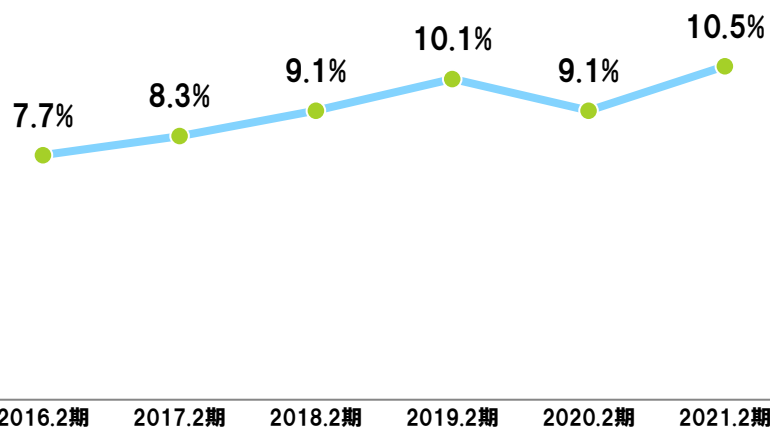
連結総資産推移 (百万円)



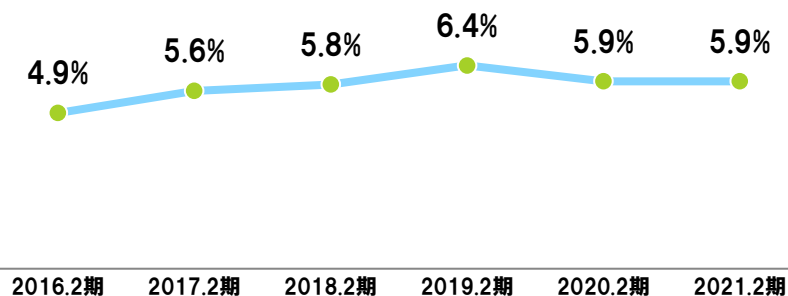
連結純資産推移 (百万円)



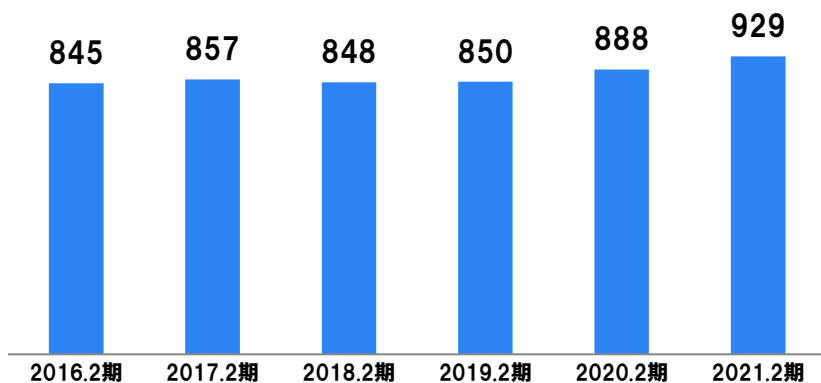
連結ROE推移



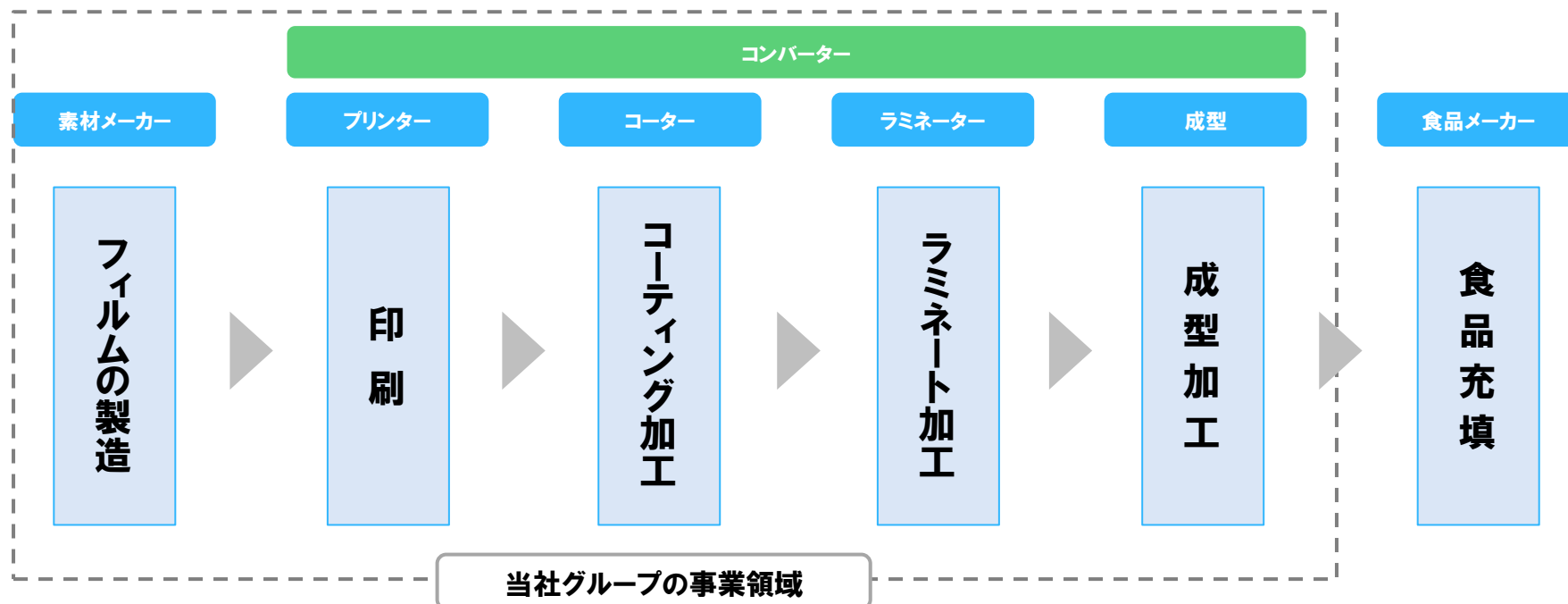
連結ROA推移



連結従業員数推移 (人)



包装材印刷加工のプロセス(例)



種類	説明
グラビア印刷	凹版印刷(印刷しようとする文字や模様などの部分が凸版印刷と反対に窪んでいる版面を使う印刷)で、微細な濃淡が表現できる
ラミネート加工 (ドライラミネート及びサーマルラミネート)	包装材料の強化及び機能付加を目的として、接着剤により多層複合化すること
コーティング加工	素材表面を樹脂等の薄い皮膜で覆い、素材を保護したり、機能性を持たせること
成型加工	プラスチックシートに熱を加え、形を変えること(食品用容器、トレー、蓋等) インフレーション法により、プラスチックフィルム及びシートを製膜すること

“人に、環境にやさしい企業をめざして～クリーン＆セイフティ～”

社是

「事業は人なり人は心なり、楽しい会社を努力と奉仕と人の和で」

経営行動綱領

- 「誠実と誠意で信用を高めよう」
- 「忍耐を以って創意工夫をしよう」
- 「自己を啓発し協調精神を養おう」
- 「共存共栄を計り社会に貢献しよう」
- 「技術向上と力闘精神を発揮しよう」
- 「礼節と報恩で喜びを得よう」

使命観6ヶ条

- 「私達は顧客の声を心を開いて聞きます」
- 「私達は印刷及び包装容器に新しい技術を蓄積し提供します」
- 「私達は社内外の連絡を密にし、スピードと誠意で納期を厳守します」
- 「私達はお得意先との共存共栄を追求し繁栄に責任をもちます」
- 「私達は感動される仕事とシステムを通じ、より多くの固定ファンをつくります」
- 「私達は運命共同体中本グループのオアシス境をつくります」

【ご注意事項】

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。